慶應義塾大学教職課程センター公開研究会

「多様な性」と向き合う場としての学校

―セクシュアル・マイノリティの声を手がかりに―

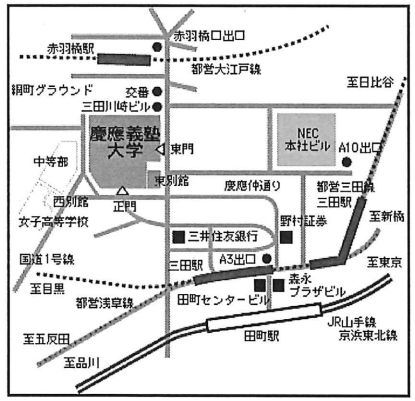
講師　渡辺大輔　氏（埼玉大学基盤教育研究センター准教授）
佐々木掌子　氏（立教女学院短期大学専任講師・本塾大学教職課程センター講師）

2015年5月23日（土）　13時30分～17時00分
慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎421番教室

日本の人口のおよそ20人に1人（約5%）がセクシュアル・マイノリティ（ゲイ、レズビアンなどの性的少数者）だといわれています。私たちの学校や職場でともに暮らす身近な存在であるにも関わらず、未だに多くの人が「自分とは別世界の人」だと感じているだけではなく、「ノーマル（正常）」という強固な物差しが暗黙に共有されているという社会の現実により、偏見や差別の壁に苦しんでいる当事者は少なくありません。

大学や民間団体の行った調査によれば、性同一性障害で診療を受けた患者の約6割が自殺を考えたことがあり、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）のうち約7割の人たちが学校でいじめにあっているといいます。そして、いずれの調査でも、そのピークは中学生時代であることが明らかにされています。子ども時代の自己否定的な体験が、自己肯定感の形成や大人になってからの生活に深刻な影響を与える可能性もあることから、学校での生活や教育のあり方が問われているといえるでしょう。

今回の教職課程センター公開研究会では、講師に渡辺大輔先生と佐々木掌子先生をお招きし、多様なセクシャリティという観点から、子どもたちが自分らしく成長していくためにどうすればよいかというテーマについて取り上げます。



JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」下車、都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、いずれも徒歩7～8分

〈主催・問合せ〉慶應義塾大学教職課程センター
TEL. 03－5427－1618

※　車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内を案内いたします。

http://www.ttc.keio.ac.jp/